



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

支部活性化のために

重廣恒夫

コロナ禍の登山

コロナ禍で、今夏に予定されている東京オリンピック・パラリンピックの開催が危ぶまれています。さらに大きなインパクトを我々の社会生活や登山活動に与えているのは周知の通りです。

昨年春、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、日本山岳会創立120周年記念事業の一つであるグレート・ヒマラヤ・トラバースを開始しました。3月5日にカトマンズを出発し踏査は順調に進んでいましたが、23日カンチェンジュンガ北側ベースキャンプからグンサに戻る途中、ラジオ放送でネパール全土にロックダウン（外出禁止）が発令されたこと、東京オリンピック・パラリンピックが延期されたことを知りました。幸いにもネパール東端の辺境の地にはまだ規制の実施が及んでいませんでしたので、予定通りの登山と踏査を終えることができました。しかし、帰路の村で警察から移動禁止を告げられ、規制の厳しさを思い知らされました。それでも何とか登山基地タブレジュンまで戻り、在日日本大使館の支援もあって、4月18日カトマンズに帰還することができました。そのうち国際線の運航も再開され帰国できたらうと高をくくっていましたが、1ヶ月の外出禁止と帰

国後2週間の自宅待機を余儀なくされました。7月から登山教室を再開して体を動かせるようになりましたが、長期間運動しなかったことによる下肢の筋肉の衰えには愕然としました。それもあって8月から筋力維持のため週2～3回、あまり人に出会わないコースを選んで六甲山を歩いています。

感染防止のため仕事もリモートワークとなり1日中家にいることが多くなって、新聞やテレビから聞こえる「コロナフレイル」という言葉が耳を突き刺します。健康と要介護の間をフレイルと言うらしいのですが、最大の危険因子がサルコペニア（加齢に伴う筋肉の減少）と考えられ、あるデータでは2週間の寝たきりによって失う筋肉は7年間に失われる量に匹敵すると言われていています。宇宙飛行士が1～2週間の宇宙滞在において、膝関節を曲げる筋肉の力が5%の低下を示し、膝関節を延ばす筋では12%、腰を曲げる筋力においては23%もの低下がみられたそうで、筋力低下を防ぐために毎日数時間船内でトレーニングをしていると言われていています。

感染対策のために家に閉じこもったり、1日中テレビを視たり、ぼんやりする時間が長くなりがちな昨今、室内で行えるスクワットや椅子の立ち上がり運動などに加

目次

支部活性化のために	重廣恒夫	1
著者と語る会報告	小黒節郎	3
支部山行報告		3
▽六甲山・蓬莱峡▽大比叡▽鉢伏山▽		
雲山峰▽三田谷▽旗振山▽高取山▽検		
見山▽安倉山▽高塚山		
個人山行(2020年10月～12月)		9
本山寺山森林づくりの会活動報告	武田壽夫	9
東お多福山草原保全活動報告	斧田一陽	10
会務報告		10
ルーム目録		11
新入会員・会友紹介		11
追悼 平井一正先生を偲んで	井上達男	12
山行委員会行事案内		13
自然保護行事案内		16
スケッチ同好会		16
編集後記		17



比良・堂満岳での登山教室 撮影：重廣恒夫

えて、アップダウンのある不整地を転倒や転落をしないようにバランスを取りながら歩く登山は、転倒防止・危険回避という安全登山のための筋肉群を維持・強化する最も効果的なトレーニングです。

リーダー養成の必要性

緊急事態措置により在宅の時間が増えてきました。机に座ると眼前の棚に並ぶ本に目をやり、たまには支部報や『関西支部80年史』を取り出して読んでいます。これまでの行事や山行を思い出しながらページを捲るのは楽しみでもあります。気掛かりなのは会員の減少と高齢化です。抗う事の出来ない少子高齢化の現実があるとは言え、会の存続を考えるとそれに甘んじてはなりません。最近の年齢構成を見て気になるのが会員数の減少はもとより、これからの支部の将来を担っていただく60歳代までの人数の減少です。その数字は2013年3月末20～60歳代40%・70～90歳代60%（総数242人）だった比率が、

2020年3月末20～60歳代28%・70～90歳代72%（総数217人）となっていることです。

これまでも会員増強のために色々な方策が講じられてきましたが、その効果は限定的でした。昔は、若い人達が山岳会に入り先輩からの叱咤激励を受けながら切磋琢磨してスキルアップするというローテーションが当たり前でしたが、社会構造の変化でそんな構図は望むべくもありません。まずは色々な手立てを使って60歳代以下の会員を増やすことが必要です。そして一定期間技術向上の適切な手ほどきをすることが肝要と考えます。その為には早急なリーダー層の拡充が必要です。

安全登山のためには、時間の経過と共に変化する環境と体力低下を認識しながら、不都合に遭遇した時には瞬時に適切な判断で身を守る対応力の養成が必要です。これまでも登山教室だけでなく、分水嶺踏査・関西県境縦走・4000山グランプリなどの実践の場でリーダーシップの在り方を伝えてきたつもりですが、それを絶やすことなく次の世代に繋げるためにも、登山を継続されてきた皆様にも今後の登山教室にアシスタントとして加勢していただきたいと思います。

さらに多様な登山を実践していただくために、「関西のアルプス踏査(会員を中心に一般からも参加を募り、色々な登山形式で安全登山や登山技術のノウハウを身につけてもらう)」と、「ヒマラヤ登山塾(登山・トレッキングだけでなく、高所登山に興味のある人達を対象とした机上講義と講習)」の2つの実施を提案しています。実施が決まれば7月頃からの開催を考えていますので、多くの方々に参加していただければ幸いです。

「令和3年関西支部総会のご案内」

日時 2021年4月21日(水)午後6時30分～
場所 浪速ビル東館地下1階会議室
 (中崎町駅3番出口徒歩1分)
 大阪市北区万歳町4-12 ☎06-6312-6948
議事 ① 令和2年度 活動報告、会計報告
 ② 役員改選
 ③ 令和3年度 活動方針、会計予算
懇親会 梅田大東洋
 会費 5,000円 ☎06-6312-7525

* 同封の葉書に63円切手を貼り4月5日迄にお申込み下さい。

* 2日前迄に連絡なく欠席された場合は相当の金額を頂戴します。

* メールアドレス・電話番号をお書き添え下さい(必須)
 連絡先(総務 新本政子 ☎090-7757-1495)



著者と語る会報告

小黑節郎

講師 和田誠志氏

(大阪市立大学山岳会、サンナビキ同人)

著書 「劔岳幻視行 山恋いの記」

11月15日 大阪セルロイド会館

著書の帯には「冬雪黒部を縦横無尽に駆け巡り、ヒマラヤの高峰群で奮闘！ 日本土着の登山とアルピニズムを融合させた最後の“怪物登山家”が語る風雪の峰々への限らない憧れと、数々の闘いの記録」とあります。その言葉通り圧倒された二時間の講演でした。

日本 登山界のレジェンドの一人である和田誠志氏については、劔沢大滝への取り組み、カンチェンジュンガ縦走を始めとするヒマラヤ登山の実績等のざっくりした知識はありましたが、配布された登山歴を見てあらためて感嘆しました。不謹慎な言い方ですが「よく生きておられる」というのが正直な思いです。あふれるほどの経験の中から今回は「劔沢大滝」と「ナンガパルバット」に絞ってのお話でした。

劔沢大滝は「幻の滝」と言われて全容を見ることが困難な神秘性を持った稀有な滝で、1962年に鵬翔山岳会によって初登攀されています。その14年後の1976年に劔沢完全初遡行を和田さんが達成されており、その後も黒部一帯で驚異的な山行記録を残されています。講演では劔沢大滝の歴史も語られ、黒部のパイオニア冠松次郎や京都大学山岳部の活躍、併せて電源開発に伴う極めてレ

ベルの高い登山内容なども紹介され、興味深く聞くことができました。また、案内人への敬意なども含めた日本の近代登山黎明期の特徴が印象的でした。

カンチェンジュンガ初縦走、マッシュブルム北西壁初登攀など数々のヒマラヤ遠征の中から、あえて登頂に成功していない「ナンガパルバット」に絞って語られた内容は、3回にも及んだそれぞれ違うルートでの壮絶な登攀内容と、それに立ち向かう隊員たちのほとぼしる情熱でした。日本における黒部周辺での長大な山行実績をベースとした、技術的、精神的強靱さをもって困難なルートに挑む姿は息をのむほどの緊張感あふれる内容でした。

和田氏は立山での転落事故で再起不能なほどの大怪我を負いながらその後も精力的に活動され、近年も国内での徒歩・自転車旅行、ネパール横断トレッキングなどに取り組まれておられます。自分自身を省みて「幾つになっても前向きでいなければ」と思わされた講演でした。

【参加者】

(東京多摩)澤田幸子、高尾文雄、(京都志賀)伊原哲士、幣内規男、松下征文、村上正、(関西)新本政子、岩崎しのぶ、浦上芳啓、小黑節郎、加藤芳樹、金井健二、金井良碩、黒田記代、重廣恒夫、城隆嗣、高木知子、辻和雄、豊田哲也、中久保忠伸、中島隆、中谷絹子、中村久住、中村三佳、西尾俊子、西田智子、野村康、村田かおり、茂木完治、(会員外7名) 計36名

支部山行報告

支部山行20-21 岩場の訓練

「六甲山・蓬萊峡」

茂木完治

10月4日(日)曇

私がいわゆる岩トレで蓬萊峡に通ったのは40年以上前だった。新会員のトレーニングの必要性を感じて1年前から個人山行として新人を連れて蓬萊峡へ来るようになった。試行錯誤を経てようやく晴れて例会に昇格しての第一回目であった。

狙いは二つあって1つ目は新人に対する岩場での歩き方などの基本の習得であり、2つ目はベテラン勢による岩登り技術の向上である。今回は比較的、山に慣れた人



蓬萊峡・大屏風岩場 撮影：茂木完治

ばかりだったので、午後はみんな大屏風に集まってきた。私も40年ぶりに大屏風をリードして登らせてもらったが、講評はザイルワークがめちゃくちゃということで散々であった。

不勉強な私であるが40年の間の技術の進歩を感じることができたのがよかった。今後はトレーニングの中心に据えて山に登れる仲間を増やしていきたい。

【参加者】

江村俊也、豊田哲也、辻和雄、立野里織、永井和、中村三佳、野村康、鷺本晴香、後藤健治、薦田佳一、茂木完治 計11名

支部山行20-23 月例会(10月)

「梅谷尾根～大比叡～無動寺道～坂本」

山内幸子

10月18日(日)曇後晴

修学院駅前に8名が集合し、荒れた雲母坂でなく梅谷北尾根から比叡山に登ることにする。

ガスがかかった山の稜線を見ながら梅谷入口まで歩く。何度か比叡山に登っているが、梅谷尾根は初めてである。昔からあるよく踏まれた道であるとリーダーの説明があった通り、道の両側は大木の根っこがむき出しになっていた。よく枯れずに生きているなど感心させられるほど、土が流されて溝のようになっているが、長い歴史を偲ぶことができる。歩きやすい広い道である。

広葉樹の多い明るい道で尾根に上がると展望があり、雲海や山にかかっていたガスと雲が消えていく様子も観察することができた。京都一周トレイルと合流し、到着は予定時刻より早くついたが、ケーブル比叡駅直下のアンテナ塔下の展望のいいところで、昼食タイムとする。



一等三角点大比叡にて 撮影：山内幸子

まだ早いので後で食べたいと言う声があり半分残す。

スキー場跡を歩かず、しばしばリエーションルートを通り比叡山頂まで行く。ここから一等三角点のある大比叡848mまで人が多かった。展望のない大比叡三角点を踏み、2回目の昼食タイムをとる。これまでここで多くの人と会ったことはないが、今日は人が多くにぎやかであった。コロナ禍のせいであろう。山行時はコロナは少し落ち着いていたので、久しぶりのグループ登山を楽しまれている様子うかがえた。

琵琶湖側の坂本に下るので無動寺の方に向かう。坂本ケーブル延暦寺駅から紀貫之墓に向かうと、人が少なく静かな山歩きになる。なぜここにお墓があるのかと疑問に思ったが、紀貫之がここにお墓を造ってほしいと遺言したそうだとか。延暦寺を見上げることができるからだろうと想像する。



琵琶湖を眺めながら坂本へ 撮影：山内幸子

無動寺道を順調に下り、杉やヒノキの薄暗い樹林帯を抜けて明るくなったなと思ったら林道に出る。途中で祠に祀られているお地藏さんがあった。県道を渡り観光客が目立つお寺の並ぶ道を歩き、京阪坂本駅を越えJR比叡山坂本駅まで歩いて、予定の時刻よりかなり早く山行を終えた。

気楽に気持ちよく歩けた楽しい山行でした。

今回のリーダー永井さんお世話になりました。

【コースタイム】

修学院駅8:40～9:22梅谷北尾根取付～10:09京都一周トレイル合流点～10:47アンテナ塔下11:13～11:45四明岳駐車場～12:02大比叡12:21～12:47ケーブル延暦寺駅～13:07紀貫之墓(もたて山)13:16～13:28無動寺道合流点～14:08県道～14:35比叡山坂本駅

【参加者】

永井和、黒田記代、岡野武司、関戸京子、宗實二郎、松仲史郎、深澤優子、山内幸子 計8名

支部山行20-24 ゆるやか山行【里山探訪2】

歴史と文化を訪ねて

「鉢伏山(北摂南部の山)」

山崎 詮

10月22日(木)曇

当初の計画では阪急北千里BSから高山BSまでバスで歩き、縦走を始める予定だった。しかし、道路事情でバスが北摂霊園事務所までしか運行していなかったため、急遽コース変更することになり北摂霊園前BSで下車する。

そこから鉢伏山に向かう。バス道を箕面川に沿って下り、右岸の梅ヶ谷道に入る。荒れた谷沿い道を30分ほど詰め上がると主稜の縦走路に抜け出て、左にとる。薄く色づいた広葉喬木の疎林を吹き抜ける風が、汗ばんだ体に爽やかだ。30分ほど南にたどると鉢伏山(標高604m)に着き昼食。午後からの雨予報と長い下山路を考慮して昼食時間を少し早い目に切り上げて出発する。

箕面の森からようやく台園地までは主稜線沿いに1時間ばかりの車道歩きで、ようやく台園地からは支稜線の登山道を下る。登山道右手の植林帯は台風によってなぎ倒された倒木が目立つ。

左手は雑木林が広がっている。三国峠を経て箕面山(標高355m)に立ち寄り、滝道の石子詰に着く。山行としてはここで終了解散する。

石子詰から上流へ進めば箕面の滝まで10分ほど、右にとって川沿いに下れば30分ばかりで阪急箕面駅に着く。



三国峠付近 撮影：山崎詮

【コースタイム】

北摂霊園事務所10:00~10:30梅ヶ谷出合~11:00主稜線縦走路~11:30鉢伏山12:10~12:30箕面記念の森~13:30ようやく台園地~14:10三国峠~14:30箕面山~15:00石子詰

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田記代、新本政子、魚津清和、黒田守彦、薦田佳一、坂口和子、野口恒雄、橋本圭之輔、深澤優子、松村文子、森澤義信、山崎詮、山下政一、青木昭、秋月修次、池尻英明、金川清弘、黒岩敦子、田頭夏子、淡野隆久、播戸日出生、横山規江 計24名

支部山行20-25 しっかり歩こう

「紀泉アルプス 札立山から雲山峰」

小黒節郎

10月31日(土)晴

南海電鉄孝子駅に9時集合、線路沿いの道からスタートして逢帰ダム脇を通り山道に入る。倒木などが多く歩みにくい。はっきりとしない登山道を苦勞して進むといきなり視界が開けて札立山に到着。山頂は立派な休息スペースとなっていてベンチと日よけまである。景色もすばらしく紀ノ川が見下ろせた。

ここからは登山道が整備されており登山者ともすれ違う。樹林帯の快適な縦走路を進むが、時折木立の間から景色が望めて気持ちがいい。南は高野山方面、北は関西空港から大阪市方面まで山・街・海がきれいに見える。大福山直下で昼食をとるがこのあたりから和歌山県の高校のイベント参加の男女と数多くすれ違う。みんな若々しく明るくすがすがしい。いつもの「しっかり歩こう」はほとんど人と会わない山行が多いので、おおいに刺激を受ける。

大福山から一等三角点のある俎石山まで30分ほどかけて往復し縦走路に戻る。休憩所のある井関峠を通過し雲山峰(点名天下森)に到着。標高489.9mで本日の最高峰。山名からすると何か宗教的由来があると思うがよくわからない。今回のルートは、標高はさほど高くないが、縦走路のアップダウンが多く結構な運動量となる。コロナで山行回数が激減する中で体力が心配だったが、17時30分にだいぶ暗くなった山中溪駅に全員無事到着、いい汗をかいた。

それにしても最高齢の宗實さんがとてもお元気でびっくりでした。帰宅して歩数をみたら3万7000歩、よく歩きました。久しぶりに「しっかり歩こう」に参加しましたが、天候に恵まれ眺望もすばらしく山歩きの楽しさを十分に味わうことができました。



今日の最高峰雲山峰にて 撮影：小黒節郎

【コースタイム】

孝子駅9:10～11:04札立山～12:49大福山～13:04俎石山～
14:03井関峠～15:05雲山峰～17:30山中溪駅

【参加者】

山内幸子、久保和恵、黒田記代、関戸京子、深澤優子、
松仲史朗、宗實二郎、小黒節郎 計8名



札立山にて展望を愉しむ 撮影：小黒節郎

支部山行20-26 沢登り例会

「奥高野神納川支流三田谷(上西谷)」

中久保忠伸

11月21日(土)晴

R168を南下して川津で神納川沿いに西へ車を走らせる。途中迂回路もあり少し迷ったが時間通りに登山口に到着。

三田谷は伯母子岳を源流とし流域10km以上におよぶ長い谷である。初日は平凡な谷歩きのイメージであったが、水量も多くきれいな谷だった。紅葉がほとんど終わり、谷は落葉でびっしりである。大きな滝はないものの水量が多いために徒渉が大変、小滝と小ゴルジュ、水量豊富な釜もあり歩いていて厭きない。やがて、右岸に朽ちた植林小屋を見送り1時間ほど進むとガニオ谷出合である。ここからは、ビパーク地を探しながら進み、適当なところでビパークとする。



2段25m滝にて 撮影：中久保忠伸

11月22日(日)晴

今日も天気は良さそうである。前日同様、小滝と釜をこなして進むとやがて1時間半で左岸からマツオ谷が出合う広い河原である。マツオ谷を見送ると谷は小滝をこえながら高度を上げていく。二条になった10mの滝を右岸から巻くと正面に2段25m滝がかかる。記念撮影をしてから、ここも右から巻くが上にも5m滝がかかり合わせて巻いたら1時間以上かかってしまった。上流にもナメ滝があり、ここらあたりが核心部らしい。小滝や巻きを繰り返しながら進むと通称大ガレである、昔に左岸が大きく崩落したのだろうが今は多くの立木もある。谷はさらに高度を上げる。やがて源流の様相をみせてきたので左岸の急な尾根にとりつくつと熊野古道にとびだした。ここから、登山口まで約3時間の下山であった。

【コースタイム】

21日 登山口で入谷10:00～13:45朽ちた植林小屋～14:30
ガニオ谷出合～15:00ビパーク地

22日 ビパーク地6:55～7:55マツオ谷出合～9:30 2段25m
滝～12:30大ガレ～14:30熊野古道～18:30登山口

【参加者】

茂木完治、豊田哲也、関戸京子、立野里織、西田智子、
中久保忠伸 計6名

支部山行20-27 六甲を歩く「六甲全縦の原点」

「旗振山252.6m・高取山328m」

前田正彰

11月14日(土)晴

朝から気持ちの良い晴れの天気。この時期にしては暖かい絶好の登山日和だ。神戸市主催の「六甲全山縦走大会」当初の出発点のJR塩屋駅を定刻の9時に出発した。

しばらく住宅街の細い道を進む。緩やかな坂道が程よい“アイドリング”の役目を果たしてくれる。やがて山道に入るともう雑木林の中で直射日光を遮ってくれてありがたい。その林を抜けると一変して展望が開けてくる。そこは「須磨浦遊園地」だ。この時期閉園中ではあるが、山に登る数組の人たちがそこのベンチで休憩していた。我々もその仲間入りをしてゆっくりと摂津と播磨の国境線が延びる谷合とその向こうに広がる大阪湾の展望を楽しんだ。

旗振山で集合写真を撮って再出発。高倉団地を過ぎるとこのコースの名物階段が待ち受けている。四百数十段をゆっくりと休憩なしで登り切ることが出来た。そして二つ目の山頂である梅尾山で昼食とした。もやっちはい

るが、それまで歩いてきた尾根筋からその先の淡路島、明石海峡大橋と絵になる見晴らしだ。

次のピークは横尾山、そして難関の“須磨アルプス”へ。ここでは元気いっぱいの少年軍団を見たり、幼い二人の女兒を連れた若いお父さんに会ったりでびっくりさせられた。東山からは勿体なくも横尾団地へ降ろされて、さらに妙法寺の市街地を高取登山口までアスファルト道が続く。やれやれの思いで山道にとりつくとは今度は結構な斜面である。疲れた足に厳しいものがあった。それでも何とかゆっくりペースでほとんど休憩なしに高取山の三角点まで登ることができた。

時計を見ると計画目標の時間設定よりかなり遅くなっており、ゴールまでの時間を考えると間違いなく日暮れになると予測できたので全員の合意のもとにそこから下山することに決めた。その代わり？ 全縦や普段の登山では使わない高取山の東西ピークを通るコースを歩いてみようということになり稜線に行くことにした。お蔭で南に広がる泉州から生駒にいたる山並みの見事な展望と神戸の北側の景色を満喫することができた。帰路は地下鉄・高速長田駅で解散とした。



旗振山にて 写真提供：前田正彰

【コースタイム】

JR塩屋駅9:00～11:10旗振山～11:40高倉台～12:05梅尾山
～12:50横尾山～15:00高取山～16:40地下鉄・高速長田駅

【参加者】

松仲史朗、清瀬祐司、淡野隆久、久保和恵、黒田記代、
前田正彰 計6名

支部山行20-28 ゆるやか山行【里山探訪2】

歴史と文化を訪ねて

「**検見山 大峰山 安倉山(北摂西部の山)**」

岡田輝子

11月19日(木)晴

これ以上ないと思われる秋晴れに背中を押されて、ゆ

るやかでしっとり湿った枯れ葉の山道を登り始める。しばらくして山内Sリーダーの身体をほぐす準備体操、身体が徐々に軽くなっていく。久保Cリーダーの「さあ、行きましょう！」の合図で勢いよく出発。落ち葉の絨毯を踏みしめて、自粛からのひとときの解放、今日歩けることに感謝。予定より25分も早く検見山頂上(475m)に到着。早めの昼食休憩30分。

少し下った藪の中に四等三角点(424m点名：検見山)を探し当てたのち、鉄塔のある場所へ飛び出すとそこからは、これから登る大峰山全貌が見渡せる秋風景の絶景。薄の穂が風に揺れて、皆、歓声をあげて、それぞれに写真撮影を楽しんだ。

一旦、車道に下り、優しい坂道を登り返して大峰山552m(三等三角点 点名：大峰山)へ。ここで全員の記念写真撮影。

大峰山からは、一息入れるところがない激下りが鞍部まで続き、枯れ葉の堆積の下に岩や木の根が隠れていて、しかも乾ききった道。慎重に足場を確認し、変化に富んだ行程を楽しんで安倉山へ。

「安倉山」という標識がいくつも現れた。安倉山財産管理組合の、文字通りの管理の山であるという。イノシシが熱心に掘り起こした痕跡が多く、藪っぼい中、踏み跡を辿り、安倉山(465m 四等三角点)に到着。点名は桜小場と美しい響きだが、残念ながら頂上付近は、まばらな雑木林で、早々に下山となる。途中、つつじヶ丘展望所へ立ち寄り、大パノラマの山座同定は至福の時間。しばし休憩。

計画通りの趣のある溪谷を横切り、大峰山の山腹をトラバース気味に高度も下げて、桜の園へ。クライマックスは、残照を集めての錦繡の紅葉。ゾクッとする絶景。これほどの紅葉は見たことがない、極限の神秘。疲れもふっ飛び、感激、感動の頂点へと心も震える。

親水公園を経て、廃線跡のトンネル2カ所を通過する。JR武田尾駅までの車道歩きは余韻に浸りながら、夕景に沈み始めた山々を振り返りつつ、山の神に感謝を奉る。



大峰山全貌を望む 写真撮影：浦上芳啓

【コースタイム】

宝塚駅10:00～10:21 検見橋10:27～11:35 検見山12:05～13:29 大峰山13:40～14:12 安倉山14:15～14:35 つつじヶ丘展望所14:40～15:50 親水公園～16:15 JR武田尾駅

【参加者】

久保和恵、山内幸子、黒田記代、新本政子、魚津清和、内田嘉弘、内田昌子、浦上芳啓、岡田輝子、黒田守彦、坂口和子、助川征、田中昌二郎、橋本圭之輔、前田正彰、松村文子、松村竹次郎、山崎詮、山下政一、秋月修次、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、高木知子、田頭夏子、田中アキエ、淡野隆久、中田栄、横山規江 計29名

支部山行20-30 月例会(11月)

「高塚山～行者ヶ森」

関戸京子

11月29日(日)晴

今日は、秋晴れのなかを、落ち葉を踏みしめて、なだらかな、森の中をゆっくり歩き、ほっとするような、山行であった。今回の集合場所は、京都市内の地下鉄の醍醐駅で、集合時間は10時である。

京都の山に登るときは、早朝スタートで交通の便の必ずしもよくない場合が多いが今回はゆっくり目のスタートでアクセスもいい。そのためか、結構熟年のベテランのメンバーも集まっており、久しぶりに顔を合わせ、挨拶を交わしあった。総員、15人の大所帯となった(私にとっては初めての多人数参加の山行だ)。

途中、それぞれ話に花を咲かせながらの楽しい山行であった。長尾天満宮まで歩き、準備体操で体をほぐして、紅葉を眺めてから、山道に入り、高塚山に向かった。なだらかな森の中の道だ。落ち葉が綺麗だ。

「単調な登りは退屈だ」「物足りない」「後半には藪漕ぎがあるよ」「そんな藪漕ぎが必要なところなど、もう危なくて登れない」「一番の安全登山はどこにも行かないことだよ」長年のお歴々が本気とも冗談ともつかない掛け合い漫才のような会話を続けるうちに、12時前に高塚山についた。

ここは木々の間から下に街並みがひろがっているのが見える。ランチには格好の場所だ。コロナ対策のため、密にならず三三五五に分かれて昼食をとった。

昼食後、大宅奥山に向かった。黄色の落ち葉がふわふわと敷き詰めたようにひろがっている。緑の木々がアーチのように山道に沿って茂り、まるで映画のひとコマのようだった。

「ここから道はありません。それぞれ大宅奥山を目指してください」とリーダーの掛け声で、各々が雑木林の中を草を掻き分け歩く。頂上にはかわいい標識「大宅奥山 474メートル」があった。

もと来た道を歩き、13時半頃、「行者ヶ森」の標識のある場所に出た。ここが山頂であろうと考えていたところ、その標識の先に石積があるという。このほうが山頂らしいと集合写真を撮った。「行者ヶ森」といわれている場所と山頂は、微妙に食い違っているようだ。

そこからはゆっくりと山を降りたが、ところどころに伐木があるものの、落ち葉の道に夕日が差し込んで、穏やかな下りであった。

予定通り午後3時、地下鉄の柳辻駅についた。京都の市街ともいべきところで、こんなに落ち着いた森の中を歩けるとは思っていなかった。

参加した仲間も同じ思いのようで「久しぶりにゆっくり、気兼ねなく歩けた」と満足そうであった。



高塚山を後に大宅奥山へ向かう 写真提供：豊田哲也

【コースタイム】

醍醐駅10:04～10:23 長尾天満宮10:41～11:52 高塚山12:30～13:08 大宅奥山13:12～13:36 行者ヶ森13:50～14:43 岩屋神社～15:03 柳辻駅

【参加者】

山崎詮、山内幸子、久保和恵、黒田記代、永井和、上田典子、内田嘉弘、岡野武司、黒田守彦、野口恒雄、橋本圭之輔、小黒節郎、茂木完治、豊田哲也、関戸京子

計15名

【以下の山行は中止となりました】

20-22 沢登り例会 …………… 10月10日～12日
20-29 岩場の訓練 …………… 11月23日
20-31 しっかり歩こう …………… 12月5日

20-32 沢登り例会 12月5日～6日
 20-33 ゆるやか山行 12月10日
 20-34 月例会(12月) 12月12日
 20-35 岩場の訓練 12月20日
 20-36 岩場の訓練 12月27日

11月6日 泉南 神於山
 11月8日 京都 当尾石仏めぐり
 11月9日 北摂 一本松山・大日山
 11月14日～15日 中ア 恵那山
 11月14日～16日 丹沢 丹沢山・塔ノ岳・鍋割山
 11月15日 京都北山 瓢箪崩山
 11月23日 京都 高塚山
 11月23日 北摂 半国山
 11月26日 丹波 長老ヶ岳
 11月26日 丹波 城山(黒井城跡)
 11月28日～12月4日 高知・徳島の山旅
 12月5日 丹波 岩倉山～西鎌倉山～海見山
 12月6日 和泉山脈 滝畑・奥立岩の横谷左岩壁
 12月9日 京都西山 三郎ヶ岳～牛松山
 12月12日 六甲 芦屋ロックガーデン
 12月13日 山口県周南市 烏帽子岳
 12月20日 奈良 御破裂山
 12月20日 北摂 芥川・空谷
 12月29日 六甲 蓬萊峽
 12月29日 京都北山 箕ノ裏ヶ岳
 12月31日 大峰 八経ヶ岳
 12月31日～1月2日 南紀 子ノ泊山・峯ノ山

個人山行(2020年10月～12月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

10月2日 奥高野 護摩壇山
 10月3日 大峰 大普賢岳
 10月4日～10日 西上州の山
 10月5日 北摂 高代寺山・旧山下道
 10月5日～17日 信州の山旅
 10月8日～12日 北ア 奥大日岳・弥陀ヶ原
 10月11日 六甲 摩耶別山
 10月18日 六甲最高峰
 10月24日～25日 中国山地北部 猫山・本陣山・摩尼山
 10月25日 奈良県 竜門岳
 10月28日 和泉山脈 三国山
 10月30日～11月2日 熊野古道小辺路 高野山～熊野本宮
 11月1日 丹波 八王子山～虚空蔵山
 11月1日 北摂 古宝山
 11月1日～3日 両白山地北部 高三郎山
 11月5日 但馬 氷ノ山

10～12月「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫

特記事項：「大阪さとり地域協議会」の牧野事務局長、事務局 金子氏の視察があり（10月8日）、倒木が多い山域なので安全第一に、活動の経過記録を、等の助言を受ける

日時：2020(令和2)年10月1日(木)9:30～15:30

気象：晴(朝の小屋20℃)

活動エリア：44林班ろ

活動内容：枯損木・倒木の玉切りと棚積み、枯枝切り、林床整備

参加者：猪川誠、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、武田壽夫、宮本廣、山田真也、山本國夫
計9名

日時：2020(令和2)年10月29日(木)9:30～15:30

気象：晴(昼の作業地点16℃)

活動エリア：44林班は-01

活動内容：モニタリング調査区の設定、枯損木・倒木の玉切りと棚積み、林床整備

参加者：斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山本國夫
計6名

日時：2020(令和2)年11月5日(木)9:30～15:30

気象：晴(昼の作業地点12℃)

活動エリア：44林班は-01

活動内容：モニタリング調査区周辺の林床整備、枯損木・倒木の玉切りと棚積み

参加者：内海宏一、石原順子、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、河野直子、武田壽夫、宮本廣、山本國夫 計9名

日時：2020(令和2)年11月15日(日)9:30～15:30

気象：晴(朝の作業小屋18℃)

活動エリア：44林班は-01

活動内容：モニタリング調査区周辺の林床整備、枯損木・倒木の玉切りと棚積み

参加者：斧田一陽、黒山泰弘、倉谷邦雄、武田壽夫、湊亮、山本國夫 (体験)小仲早苗
6名+体験1=計7名

日時：2020(令和2)年11月22日(日)9:30～16:00

気象：晴(活動地点の気温12℃)

活動エリア：44林班は-01

活動内容：モニタリング調査区と直下溪口の林床整備、枯損木・倒木の玉切りと土留めづくり

参加者：斧田一陽、石原順子、倉谷邦雄、武田壽夫、山本國夫 計5名

日時：2020(令和2)年12月3日(木)9:30～15:00

気象：晴(活動地8℃)

活動エリア：45林班ろ-04、に-03

活動内容：境界標#170北側斜面の枯損木・倒木等の処理と土留め作り、落枝整理、枝打ち、境界標#165付近、天然林の枯損木・倒木処理と土留め作り、落枝処理、林床整備

参加者：猪川誠、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、黒山泰弘、武田壽夫、豊田哲也、中村賢三、宮本廣、山本國夫 計12名

日時：2020(令和2)年12月20日(日)9:30～13:30

気象：晴(活動地0℃)

活動エリア：45林班に-01

活動内容：物置小屋付近の過密天然林間伐、併せて小屋の清掃、備品整理、作業台整備(本山寺勧請掛けの掛け替え供養を見学)

参加者：猪川誠、石原順子、斧田一陽、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、河野直子、越野雅美、武田壽夫、中村賢三、宮本廣、山本國夫 (体験)小林又七、中西未来 12名+体験2=計14名

東お多福山草原保全活動報告

斧田一陽

日時：2020(令和2)年9月30日(水)

作業内容：秋の植物調査、外構部のササ刈

参加者：田島聖子、斧田一陽 計2名

日時：2020(令和2)年11月28日(土)

作業内容：晩秋の全面刈り

参加者：田島聖子、斧田一陽 計2名

Room目録(2020年10月～12月)

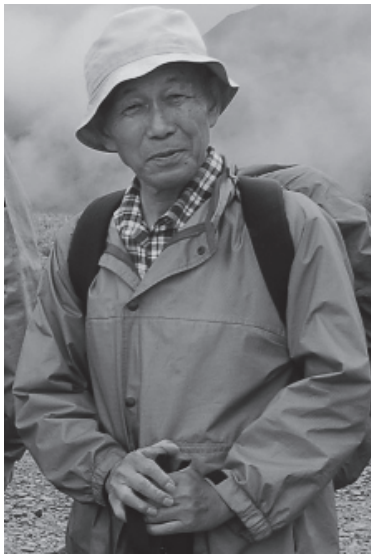
10月2日 図書委員会
 7日 財務事務処理
 安全委員会
 13日 支部事務処理
 14日 図書委員会
 役員会
 21日 山行委員会

11月5日 財務事務処理
 9日 図書委員会
 17日 三役会議
 18日 財務委員会
 役員会
 24日 安全委員会
 25日 山行ひろば

12月4日 登山文化研究会
 9日 支部事務処理
 16日 支部報発送作業
 三役会議
 登山教室座学
 20日 登山教室座学
 22日 支部事務処理
 29日 登山教室打合せ

追悼 平井一正先生を偲んで

神戸大学山岳会元会長 井上達男



2011年8月26日 太郎平

2021年2月15日、先生は帰らぬ人となられた。享年89歳、まだまだ元気に我々後進の指導を願えるものと思っていたが、残念ながら別れとなった。昨年暮れから入院手術、その後意識をなくされたままお釈迦様が亡くなった同じ日に天に召された。

先生の登山歴は多くの方がご存じと思いますが、少し振り返って

みます。1954年、京都大学山岳部に入部されて以来、国内では積雪期の剣尾根に挑戦されるなどご活躍、1958年には京都大学のチョゴリザ遠征に参加、藤平氏とともに頂上に立たれた。また1962年にはサルトロカンリ遠征に参加された。その後神戸大学に赴任され、1965年山岳部副部長に就任。

1966年3月、神戸大学山岳部は春山合宿で西鎌尾根から槍ヶ岳を目指して行動中、千丈沢乗越手前で部員が水鉛谷へ滑落する事故があった。先生は捜索隊に参加され、遺体発見と収容に活躍された。それ以来今日まで神戸大学山岳部と山岳会に深く係られることとなった。1986年には山岳部部長に、1997年には山岳会会長に就任され、2006年に勇退されるまで労を惜しむことなく後進の指導にあたられた。

1976年、カラコルムのシェルピカンリ7380m遠征では初めての海外遠征隊長として見事初登頂に成功された。また、1986年にはチベット学術登山隊を組織、総隊長としてクーラカンリ7554m初登頂成功とラサから成都への川蔵公路の外国人初踏破を含む多くのテーマの学術調査を指揮された。この隊に参加した中国地質大学(武漢)の学生であった李致新氏は現在中国登山協会のトップとして活躍されている。加えて1988年には先生指導の下、四川省のチェルー山6168mに中国地質大学(武漢)と学生主体の合同登山隊を派遣、初登頂に成功している。登山での国際交流推進は「共に苦勞して築いた友好は平和への大事な礎である」と常に我々に問いかけられた先生の信

念であった。

先生が参加された最後の遠征は2003年カンリガルポ山群、ルオニイ峰6882mだ。全長280kmの山群に未踏の6000m峰が47座数えられたが、その最高峰への挑戦であった。残念ながら悪天候と絶望的な山容のために敗退した。遠征当時ご令室が肺癆を患われていたが、そのことを伏せての総隊長としての参加であった。ご令室の葬儀の時に初めてその事実を知らされ、驚愕した。愛妻家であられたので当時の苦悩は計り知れないものであったろうと心が痛んだ。その後、神戸大学隊は2009年に山群第二の高峰、ロブチン峰6805mに初登頂した。

チョゴリザを皮切りに5回の海外遠征と4回の初登頂に成功されたが、誰一人犠牲者を出すことなく登山人生を送られた。2010年、瑞宝中綬章を授与されたとき、「山で貫ったんと違うで」と自ら弁明されていたが、誰もがやっぱり山に違いないと思ったものだ。専門のシステム工学での功績と大学間の国際交流での実績が評価されたのではあるが。

先生との出会いは1966年、私の神戸大学入学時まで遡る。合格発表とともに即山岳部に入部しようとした矢先、前述の遭難事故があった。入部を躊躇しているとき、「チョゴリザに初登頂したすごい先生がいるから会いに行け」と先輩に言われて研究室を訪ねた。小柄で硬い表情の学者という感じだった。「山岳部に入部した新入生です」と挨拶すると、にこやかな表情に変わって親しく歓談させていただいた。それで山を続ける決心がついた。翌年春に但馬の鉢伏山から瀨川山へのスキー縦走に同行いただいた。華麗なシュテムクリスチャニアで新雪を颯爽と滑降する姿に感心した。これが初めての山行だった。

その後先生はドイツに留学されてしばらく疎遠になっていたが、帰国されたときには、シェルピカンリの遠征計画が進められていた。1974年に第一次隊が派遣され、私も参加した。帰国後に先生が本隊の隊長を引き受けられ、準備が進められた。豊富な経験から、何事も適切に進められるので安心して担当の仕事に邁進することができた。

1976年6月16日、シヨーク川岸のカパーラーからキャラバンが始まった。150人近くのポーターや隊員がザークで川を渡るのは半日仕事であった。私は先発隊として谷奥にマッシュャブルムの聳えるフーシェ谷の徒渉を偵察

するために先を急いだ。川幅300mに数本の流れができて膝上までの冷たい濁流が音を立てて流下していた。難なく渉って対岸から引き返しキャラバンの到着を待った。ポーターの先頭集団十数名が元気にやってきたので先導して徒渉し、対岸のキャンプ地ハルディに到着した。遅々として進まないポーターの集団が徒渉地点についたのは午後4時だった。その後、事件が起きた。夕方の増水で流れに足を取られて数名のポーターが流された。何とか助けたものの介抱に時間がかかりその日はキャラバンを止めた。結局ポーターたちは徒渉を拒んでフーシェ谷を溯って橋を渡り二日間かけてハルディにつく羽目となった。隊が集合した夕食後に反省会がもたれたが、先生がイの一番に「ポーターたちの協力なくして遠征は成り立たない。彼らも仲間である。それをよく考えて行動せよ」と叱責された。私のミスリードが原因であったが、チームワークの欠如は明白であった。その指摘もあったが、やはりポーターも隊の一員であるとの意識が大切であることを思い知らされた。その後、隊は引き締まり、登頂に成功した。先生の隊員たちの安全に対する気配り、危険回避の指摘などを含めて、リーダーとしての能力は素晴らしいものだった。

2011年8月、もうすぐ80歳の先生から「黒部の赤牛に登りたい。一緒に行ってくれるか」と電話があった。2010年9月には先生が登り残していた塩見岳に同行したが、今回を最後の大きな山行にしたいということだった。太郎平から入山し、雲ノ平を経て水晶岳を越えて赤牛岳に至り、黒部湖に下山する3泊4日の旅だった。私一人では何かの時に対応できないと考えて頼りになる仲間二人に参加してもらった。先生はゆっくりとした歩きだったが、毎日元気に山を楽しまれた。黒部ヒュッテから黒部第四ダムまで、アップダウンが延々と続く道はきつかったことと思われる。

私事だが、「お前の嫁さんは俺が見つかる」と引き合わせてくれ、媒酌もしていただいた。出会いの大切さを教えていただいた。先生が媒酌の山屋カップルはみな仲が良い。山岳会長を勇退される時、「後を引き受けよ。拒否権なしだ」「やってきた未知への挑戦を継承するのは君の責務だ」と説得された。2009年のロプチン峰、2015年のタリ峰遠征を実現できたが、先生のご指導あつてのことだ。

出会いから54年、わが人生を決定的に道付けしていただいたことに深く感謝している。(会員番号13000)

2021年4月～6月 山行委員会行事案内

21-01 雪稜シリーズ④

「白川郷 猿ヶ馬場山」

日 時：4月3日(土)～4日(日)

備 考：残雪期のテント泊。ワカンもしくはスノーシュー利用。

詳細は申込者に連絡します。

申込み：3月24日(水)迄(担当：江村俊也)

21-02 クライミング初級

「六甲山・蓬萊峡」

日 時：4月11日(日)

集 合：阪急宝塚駅 9:07発有馬温泉行バスに乗り乗ります。

備 考：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミングシューズなど

申込み：4月5日(月)迄(担当：江村俊也)

21-03 月例会(4月)

湖北の山「花の百名山 赤坂山・三国山」

日 時：4月17日(土)

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

集 合：JR湖西線マキノ駅8時50分

9時00分発のバスに乗り乗

コース：マキノ高原～赤坂山～三国山

地 図：2.5万分の1「駄口」「梅津」

備 考：この時期、カタクリやオオバキスミレなどの開花が予想されます。

申込み：4月10日(土)迄(担当：岡野武司)

21-04 沢登り例会

「熊野川支流立間戸谷」

日 時：4月17日(土)～18日(日)

集 合：立間戸谷登山口10時(車利用)

コース：登山口～源助滝～屏風滝往復～(泊)～牛鬼滝～子ノ泊山～登山道を使用して登山口へ下山

地 図：2.5万分の1「大里」

装 備：沢登り装備一式・ツェルト・寝具・1泊2日分食料

申込み：4月1日(木)迄(担当：中久保忠伸)

21-05 しっかり歩こう コロナ禍で行けなかった山の再計画

「鎧・兜岳から屏風岩公苑」

日 時：4月18日(日)

集 合：近鉄大阪線名張駅7時50分

8時5分発のバスに乘車

コース：名張駅＝鎧岳登山口～鎧岳～兜岳～国見山～住塚山～屏風岩公苑

地 図：2.5万分の1「大和大野」「俱留尊山」

備 考：歩行距離は約14km程ですがアップダウンの多いコースで、しっかり歩きます。

申込み：4月8日(木)迄(担当：山内幸子)

21-06 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

六甲山系の山「東おたふく山・蛇谷北山」

日 時：4月22日(木)

集 合：阪急芦屋川駅前広場 9時20分

コース：阪急芦屋川駅BS→東おたふく山登山口BS～石の宝殿～奥池BS

地 図：2.5万分の1「宝塚」

備 考：歩行距離約7km 歩行時間約4時間30分

申込み：4月13日(火)迄(担当：久保和恵)

21-07 比良山系を歩く

比良山系北端の山「蛇谷ヶ峰・阿弥陀山」

日 時：4月29日(祝・木)

集 合：JR近江高島駅前 畑行きバス停前 9時30分

コース：畑バス停～ヨコタニ峠～蛇谷ヶ峰～入部谷越～阿弥陀山～中野太山寺バス停

地 図：2.5万分の1「北小松」「饗庭野」

備 考：歩行距離約14km 歩行時間約7時間

申込み：4月20日(火)迄(担当：久保和恵)

21-08 沢登り例会

「往古川真砂鬼丸谷」

日 時：5月2日(日)～4日(火)

集 合：真砂谷出合左岸の林道 10時(車利用)

コース：真砂鬼丸谷出合～奥ノ坊主からの支流又は八町滝下流(泊)～源流(泊)～与八高～加茂助谷の頭～花抜峠～林道～真砂鬼丸谷出合

「山行ひろば」開催案内

支部ルームに集まり、登りたい山の話を楽しみましょう。会員間の交流を図る場としてご利用下さい。

5月26日(水)18:30～20:30

(担当：黒田記代 kuroda2822@kcn.jp)

地 図：2.5万分の1「引本」「大杉峡谷」

装 備：沢登り装備一式・ツェルト・寝具・2泊3日分食料

申込み：4月16日(金)迄(担当：中久保忠伸)

21-09 岩場トレーニング

「六甲山・蓬萊峡」

日 時：5月9日(日)

集 合：阪急宝塚駅 9:07発有馬温泉行バスに乘車します。

備 考：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミングシューズなど

申込み：4月30日(金)迄(担当：江村俊也)

21-10 月例会(5月)

比良・比叡トレイル「宮メズラ・魚の子山・梶山」

日 時：5月16日(日)

集 合：JR湖西線堅田駅8:30

江若バス細川行：堅田駅8:50発に乘車します。

コース：還来神社～宮メズラ～魚の子山～小出石越～伊香立峠～梶山～小野山～仰木峠～戸寺

地 図：2.5万分の1「大原」

備 考：比良比叡トレイルのいちばん地味な区間を歩きます。

歩行時間7時間(休憩時間を含む)、歩行距離10.8km。

申込み：5月6日(木)迄(担当：永井和)

21-11 雪稜シリーズ⑤

「山域未定(北アルプスなどを考えています)」

日 時：5月21日(金)～23日(日)

備 考：積雪期経験者限定。アイゼン、ピッケル要。詳細は申込者に連絡します。

申込み：4月16日(金)迄(担当：江村俊也)

21-12 しっかり歩こう コロナ禍で行けなかった山の再計画

「白倉岳から雲洞谷山・東山」

日 時：5月23日(日)

集 合：江若バス停 朽木栃生 10時

コース：朽木栃生～白倉岳～烏帽子岳～鷹ヶ峰～大彦峠～雲洞谷山～行者山～東山～朽木学校前

地 図：2.5万分の1「饗庭野」「北小松」「久多」

備 考：約14km縦走する静かな歩き応えのあるコースです。朽木学校前から安曇川行の最終バス18:20に乗りますので早歩きになります。少雨決行。

申込み：5月13日(木)迄(担当：山内幸子)

21-13 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

北摂西部の山「ソエ谷峠～近畿自然歩道～多田銀銅山」
 日 時：5月27日(木)
 集 合：JR武田尾駅前バス停 9時20分
 コース：前田橋BS～ソエ谷峠～多田銀銅山～村上新
 田～総合公園前BS
 地 図：2.5万分の1「武田尾」
 備 考：歩行距離約11km 歩行時間約5時間30分
 申込み：5月18日(火)迄(担当：久保和恵)

21-14 六甲山を歩く

「伝承の古道“魚屋道(ととやみち)”」
 日 時：6月6日(日)
 集 合：阪神深江駅改札口 9時
 コース：阪神深江駅～森稲荷神社～風吹岩～雨ヶ峠～
 七曲り～六甲山三角点～有馬
 地 図：2.5万分の1「西宮」「宝塚」「有馬」
 備 考：歩行距離約11.5km 歩行時間5時間30分
 申込み：6月1日(火)迄(担当：松仲史朗)

21-15 月例会(6月)

北摂の里山を歩く「摂津峡～萩谷総合公園～竜王山～
 忍頂寺～泉原」
 日 時：6月12日(土)
 集 合：高槻市営バス上の口バス停 8時30分
 (JR高槻駅北バス停8時8分発 原大橋行き乗
 車)
 コース：上の口～摂津峡～萩谷～竜仙の滝～竜王山～
 忍頂寺～泉原
 地 図：2.5万分の1「高槻」
 備 考：主に東海自然歩道を歩きます。
 申込み：6月4日(金)迄(担当：豊田哲也)

21-16 岩場トレーニング

「京都・金比羅山」
 日 時：6月13日(日)
 集 合：四条河原町7:55、三条京阪前8:01、出町柳駅
 前8:09発大原行バスに乗車
 備 考：ハーネス、ヘルメット、登攀具、クライミン
 グシューズ
 申込み：6月4日(金)迄(担当：江村俊也)

21-17 沢登り例会

「前鬼川(日帰り)」
 日 時：6月19日(土)
 集 合：車利用のため参加者へ後日連絡
 コース：前鬼林道の車ゲート～黒谷下降～本流～キリ
 トリ場～小仲坊～車ゲート

地 図：2.5万分の1【釈迦ヶ岳】
 装 備：沢登り装備一式・食料
 申込み：5月27日(木)迄(担当：中久保忠伸)

21-18 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「甘南備山 雌山・雄山」京田辺、枚方市境の山
 日 時：6月24日(木)
 集 合：JR京田辺駅西口前 9時30分
 コース：JR京田辺駅～一休寺～登山口～雌山～雄山
 ～甘南備寺跡～管理道～JR京田辺駅
 地 図：2.5万分の1「田辺」「枚方」
 備 考：歩行距離約9km 歩行時間約4時間30分
 申込み：6月15日(火)迄(担当：久保和恵)

申込み先一覧

江村俊也	tobi.osaka@me.com
岡野武司	yfd78090@nifty.com
久保和恵	uncletorys05-kazu@nifty.com
豊田哲也	zat04126@nifty.com
中久保忠伸	qq8v9xu9tnnt@jcom.zaq.ne.jp
永井 和	nagai.kazu@gmail.com
松仲史朗	mgjqk966@ybb.ne.jp
山内幸子	sacchama2f0710@yk2.so-net.ne.jp
関西支部	kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

ステップアップ登山教室 一般募集

(会員参加可能、但し有料 1回1,500円)

初級(地図の使い方)日程

2021年4月6日(火) 座学
 5月8日(土) 摩耶アルプス
 6月5日(土) 六甲アルプス
 7月3日(土) 裏六甲アルプス

中級(初歩の沢歩き)日程

2021年4月6日(火) 座学
 5月18日(火) 柏尾谷～東ノ峰
 6月15日(火) 枯木ヶ谷～右俣谷～金剛童子山
 7月13日(火) 屏風川下流～中俣谷

上級(初歩の岩登り)日程

4月6日(火) 座学
 5月13日(木) 蓬萊峡
 6月10日(木) 百丈岩
 7月8日(木) 不動岩

初級・中級・上級とも講師：重廣恒夫

登山教室の詳細内容については関西支部のホームページをご覧ください。

2021年4月～6月 自然保護行事案内

1. 日本山岳会関西支部 本山寺山の森森づくり活動(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日 4月1日(木)、4月18日(日)、4月29日(木・祝)、
5月6日(木)、5月16日(日)、5月27日(木)、
6月3日(木)、6月20日(日)、6月27日(日)
予備日 雨天など中止の場合、別途設定日予定
作業内容 倒木整備、人工林林床整備、常緑広葉樹除
伐整備、施留棚積、歩道保全整備など

集 合 JR京都線高槻駅北 アルプラザ前 8時40分
*体験作業、森林観察、入会歓迎です

2. 東お多福山ススキ草原復元活動(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

活動日 4月17日(土)、5月19日(水)
予備日 雨天など中止の場合 翌週同曜日
作業内容 外構部刈払い、春の植物調査など
集 合 JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

スケッチ同好会

【案 内】第41回 八尾常光寺と長瀬川桜並木

日 時：2021年4月2日(金)
集 合：近鉄大阪線八尾駅中央改札口前 午前10時
申 込：2021年3月26日まで
嶋岡 章
(携帯)090-8239-4521
(Eメール)shimaoka1935@ybb.ne.jp
備 考：雨天中止(参加者には前日までに連絡)

【案 内】第42回 能勢妙見口付近

日 時：2021年5月10日(月)
集 合：能勢電鉄 妙見口駅改札口 午前10時
申 込：河野直子
(携帯)090-6960-9998
(Eメール)yamaboushi2352@gmail.com
備 考：雨天中止(前日、夕方6時ごろに参加者に連絡)蒜山高原合宿は中止し、日帰りスケッチに変更

【報 告】第38回 近江八幡 水郷地帯

日 時：2020年9月28日(月)
参加者：岩崎しのぶ、浦上芳啓、大塚和子、岡田輝子、
金井良碩、久保和恵、河野直子、薦田佳一、
高木知子、田頭夏子、播戸日出生、横山規江
計12名

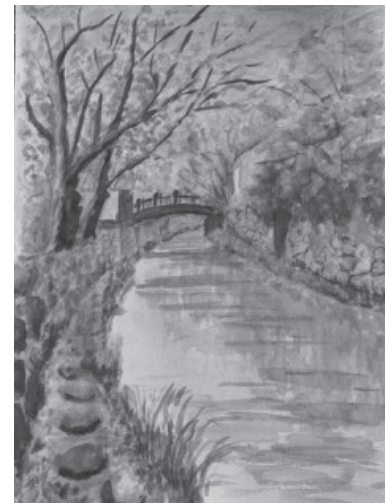
【報 告】第39回 中之島公園

日 時：2020年11月16日(月)
参加者：浅田博三、岩崎しのぶ、金井良碩、久保和恵、
河野直子、小林又七、薦田佳一、高木知子、
田頭夏子、播戸日出生、松上美代子、松村
文子、横山規江
計13名

【報 告】第40回は緊急事態宣言発出により中止



中央公会堂 画：金井良碩



近江八幡 画：横山規江

3. 自然視察会・森林観察会

- 本山寺山の森観察 体験参加見学
期日 集合 上記本山寺山森林づくりの会活動日と同じ
- 東お多福山月例観察会
4月17日(土)、5月27日(木)、6月19日(土)
集合9時(平日は10時) 東お多福山登山口バス停

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般)
☎/FAX 072-633-6556、090-4037-4542
武田壽夫(本山寺山の森) ☎090-2042-9101
田島聖子(東お多福山活動、観察会) ☎078-411-3837
締切 開催日の一週間前まで



〈編集後記〉

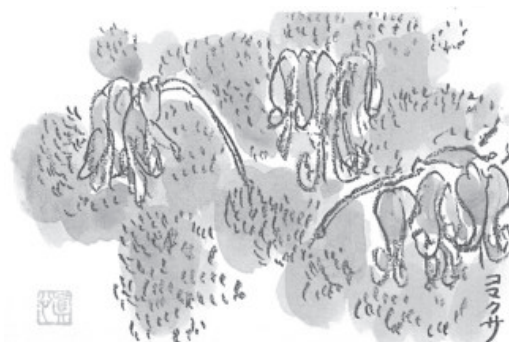
☆新形コロナ感染症流行が始まり、1年以上が経ち、社会情勢が一変しました。登山の世界も山小屋などを中心に少なからず影響を受けています。遭難は長野県などの山岳県では減っていますが、近郊の山では今まで以上に初心者が山に向かい、遭難するというようなことも増えているような感触もあります。関西支部においては、山行はもちろんですが、会議や打ち合わせ等が思うように開催できないということも起こっています。

一方で、コロナ禍に見過ごされがちですが、今年の積雪の状況を見ていますと、関西の山はちょっと記憶にないくらい寡雪で、積もったと思えばすぐ解けてしまい、温暖化の影響を感じざるを得ません。

悩みが多い時代ですが、今しばらく辛抱し、晴れ晴れとした気持ちで山に迎える日が一日でも早く来ることを祈っています。
(加藤芳樹)

お詫びと訂正

支部報182号p.6支部山行20-17月例会(9月)「日笠山～一本松縦走」報告で、報告者は関戸京子さんとなっていますが、岡田輝子さんでした。お詫びして訂正いたします。



第183号 2021(令和3)年3月10日 発行
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22
梅田東ビル 3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 茂木完治
編集 加藤芳樹 中村三佳
制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28

山岳
雑誌 **岳人**

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」



毎月
15日
発売

【特別編集】春山 —花と温泉の山—

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

価格968円(税込)

▶年間購読がおすすめ

購読割引

送料無料

限定品プレゼント

通常価格
12冊

10,560円(税抜)
11,616円(税込)

年間購読
12冊

9,680円(税抜)
10,648円(税込)

1冊分
おトク!

年間購読のお申し込みはこちらから!》

<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

モンベルポスト

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。



HydraPak

シーカー2L

¥3,190 (税抜価格: ¥2,900)

- わずか76gの2Lのソフトな水筒。
- 耐久性に優れた素材で丈夫。
- オプションパーツも豊富。



▲量めばとてもコンパクトになります。

▲収納袋が付属

輸入元: (株)ケンコー社 TEL: 06-6374-2788

※カタログをご希望の方は、弊社までご連絡くださいませ。



ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、最新の山登り道具をたくさん揃えています。経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに皆様のご来店を心よりお待ちしております。



大阪店 TEL 06-6341-5578
大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル 1F

京都店 TEL 075-222-0363
京都市中京区御池通高倉西入高宮町200
千代田生命御池ビル1階

営業時間 11:00 ~ 20:00

ロッジ オフィシャル <https://www.e-lodge.jp/>

ロッジプレミアムショップ

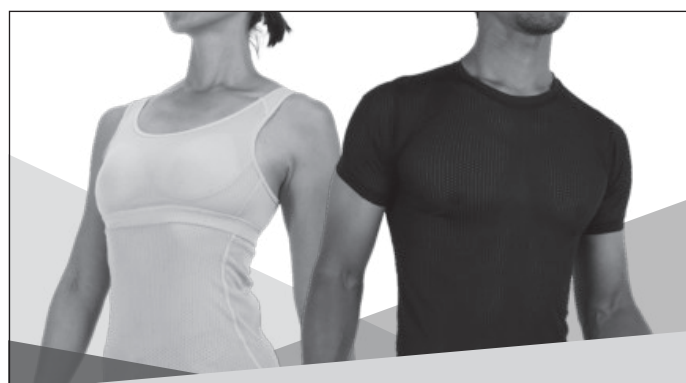
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>

Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>

検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。

URL一覧QR



この1枚が、登山を変える。

DRY LAYER®

finetrack®

ドライレイヤー 検索



私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。

IWATANI-PRIMUS

イワタニ・プリムス株式会社

www.iwatani-primus.co.jp

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20